

2021 年度

自己評価結果（2021 年度）

マリア幼稚園

1 本園の教育目標

子どもを中心として教育の中でひとりひとりの個性を尊重し、自立ある子どもをねらい、自分ひとりでできるよう援助します。

モンテッソーリ教育を通して自分で学力を身につけます。

2 本年度重点的に取り組む目標

1 平和な心を育てよう

・子どもの心が安定し、互いの思いが違っても友達を許せる心や、周りの人に対して優しく、思いやりのある心を育む。

・神様を身近に感じ、感謝する心や自分の弱さを認め、自己訂正出来る心を養う。

2 心と体を使って生きる力を育てよう

・何事に対してもチャレンジ精神を持ち意欲的に活動したり、自ら選択して判断したりする力を養う。

・困っていることや伝えたいことを言葉で表現する力や、友達に対して自らコミュニケーションをとれる力を養う。

・身の周りの事を自分で行うことや、周りの状況を判断して行動する力を養う。

A組 ・個々の課題に取り組み、自信を持って活動する。

・ことばを的確に使い、相手に伝えることによって思いやりの心を育てる

B組 ・苦手な事も最後まであきらめずに頑張る。

・友だちとの関わりの中で、思いや気持ちをことばで伝え合う。

C組 ・繰り返し活動を通して、生活の基礎を身に付け、自立心を養う。

D組 ・園生活に慣れ親る。

1 評価項目の達成及び取り組み状況

評 価 項 目

結果

取り組み状況

安全管理体制の強化

B

危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。地震、津波、火災などの避難訓練を繰り返すことにより、緊急時の対応が迅速に出来るようになる。不審者対応の訓練。

教職員の資質向上

B

報告、連絡、相談の回数も増え内容も深まった。今後はモンテッソーリ教育についてそれぞれのより深い学びが必要

コロナ禍での行事運営

B

感染予防に留意して計画し行った。一部の行事の中止もあったが、検温等保護者への協力も頂き無事おこなうことが出来た。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果が無かった）

2 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果

B

3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一定の成果は出たと思うが、課題も明確になりより一層の努力が必要と考えられる。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果が無かった）

3 今後取り組むべき課題

課 題

具体的な取り組み方法

教育内容の向上

教師一人一人が客観的な観察の視点で子どもを観る努力を行うと同時に、自身のスキルの向上のため、園内研修を重ね、積極的な学びの場を作る

コロナ禍での行事

子どもの成長の姿を観て頂く機会を無くさないように計画していくが、今後のコロナの状況を常に見極め、まず園児の安全を考えて随時計画していきたい。

幼小接続

コロナの感染予防対策を十分行った上で、小学校の見学や行事への参加を通して小学校への親しみが持てるようにしていきたい。